

## 令和7年度実施の大学機関別認証評価結果について（本学の対応状況）

岐阜大学

本学は、令和7年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価を受審し、「教育研究等の総合的な状況は、大学改革支援・学位授与機構が定める大学評価基準に適合している」と認定されました（令和8年3月）。

また、医学教育開発研究センター(MEDC)が日本で唯一、医学教育者を正規学生として養成する正課の修士課程を設置・運営している点について、優れた取組として評価されました。

しかしながら、一部の基準に関しては、改善する必要があるとの指摘を受けております。この指摘に対し、本学では以下のとおり対応することで、改善に向け取り組んでおります。

### 改善する必要がある事項

- ① 地域科学研究科修士課程において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている【基準 5-3（実入学者数が入学定員に対し適正な数となっていること）に関する改善必要事項】

#### 【本学の対応状況】

地域科学研究科修士課程では、入学定員適正化を図るため、学部生を対象とした大学院進学説明会を毎年2回開催するとともに、社会人学生や外国人留学生を含む進学希望者に対する広報活動を積極的に実施してきました。

このような取組により、令和8年度入試(令和7年度実施)における志願者合計は 22 名(定員 20 名)、入学予定者 17 名、単年度における入学定員充足率は 85%となり、改善に向けた取組の成果が表れてきています。

今後も入学定員の充足に向けて、ストレートマスターや社会人学生など内外への広報活動を継続するとともに、外国人留学生の受け入れ体制の整備を進めていくこととしています。

- ② 連合農学研究科博士課程において、実入学者数が入学定員を大幅に超えている【基準 5-3（実入学者数が入学定員に対し適正な数となっていること）に関する改善必要事項】

#### 【本学の対応状況】

連合農学研究科博士課程では、入学定員適正化を図るため、英語特別プログラムなどの入試で合格基準の見直しを行いました。

このような取組により、令和8年度入試(令和7年度実施)における志願者合計は 20 名(定員 20 名)、入学予定者 19 名、単年度における入学定員充足率は 95%となり、改善に向けた取組の成果が表れてきています。

また、現状分析を踏まえた将来に向けての方策の 1 つとして、定員増も検討しています。

以上のように、本学は、評価により明らかになった課題に対し、速やかに改善・改革を進めるとともに、引き続き、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根差した国際化の展開により、地域社会の活性化の中核拠点として、地方創生の一翼を担っていく所存です。